

塩津小学校の取組

塩津小学校は、長浜市北部に位置し、校区は南北に長く、琵琶湖畔から福井県境までにまたがる谷間ののどかな田園地帯に位置しています。今年度も調査を行った大川は、校区の中央を横断するように流れ、鮎釣りのポイントとして多くの方に親しまれています。

本校では、3年生12名が総合的な学習の時間に、1学期「水生生物調査隊」として、大川の水生生物調査に取り組みました。調査は、大川中流の香取神社付近(塩津中)と、大川上流の沓掛公民館付近の2か所で行いました。

調査結果の考察

◎第1回調査 5月26日(水) 10:00~11:30

天候：晴れ 気温：21.0℃ 水温：16.0℃

今回、水生生物によって川の水のごれがわかることを事前に学習し、塩津小学校近くの大川中流の塩津中と塩津学区の一番北部に位置する大川上流の沓掛では、どれほど水環境がちがうのかを調べました。調査前の児童の予想は、上流の沓掛の方がきれいで、下流に行くほどよごれているという考えが多く挙がりました。理由は、塩津中付近の大川が特に鮎釣りのポイントとして県内外の人に親しまれ、多くの人が釣りをしに来ているため、食べ物や釣り具のごみが川に落ちていることがあるからです。

児童にとって初めての水生生物調査であるため、水生生物に詳しい講師を招き、長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」の活動目的やねらい、水生生物の採取方法、注意事項などをお話していただきました。子どもたちは、講師の話に真剣に耳を傾けていました。その後、調査地点へ行き、4人ずつの3グループに分かれて調査を開始しました。

当日の川の様子は、流れがおだやかで色は透明でした。また、気温と水温が少し低かったため、最初水が冷たく感じました。調査では、講師から学んだ採取方法をもとにグループの中でさらにペアになり、一人がザルを構え、もう一人が大きな石を動かして水底をすくうようにして協力して取り組みました。すると、想像以上にたくさんの水生生物がザルの中に入り、驚きながらも楽しむ様子が見られました。最後に、採取した水生生物を分類ごとに分ける活動では、講師の方に教えていただきながら、どの児童もどの分類の指標生物が多いかを真剣に考え、分けることができました。



第1回調査 まとめ

見つけた指標生物は、ヤマトビケラ、サワガニ、ヘビトンボ、カワニナ等でした。指標生物以外では、ウキゴリ、スジエビ、ナベブタムシ等が見つかりました。

見つけた指標生物の種類や数から、中流の大川は「きれいな水(I)」ということがわかりました。



◎第2回調査 6月2日(水) 晴れ 10:00~11:30

天候：晴れ 気温 26.5℃ 水温：16.1℃

前回と同様に、講師を招き調査を行いました。第2回目は、塩津小学校から少し距離があり児童があまり行く機会のない沓掛で大川上流の調査を行いました。

当日の川の様子は、前日に降水があり流れが少し早くなっていましたが、色は透明で肉眼で大きめの水生生物を見つけることができました。また、気温が高かったことで川に入るのが気持ちよく、調査をしやすい環境でした。調査では、前回学んだことを思い出し、児童自ら積極的にペアになって水生生物の採取に取り組む様子が見られました。上流の沓掛には、中流の塩津中で見つからなかった水生生物がたくさん見つかり、場所によってすんでいる生き物が異なることを実感することができました。



第2回調査 まとめ

見つけた指標生物は、カワゲラ、ヤマトビケラ、ブユ、ヘビトンボ、ガガンボ、サワガニ等でした。指標生物以外では、ヤツメウナギ、ナベブタムシ、タカハヤ等が見つかりました。

見つけた指標生物の種類や数から、上流の大川は「きれいな水(I)」ということがわかりました。



環境日記

○第1回調査 5月26日(水)

- ・サワガニをたくさん見つけました。大きいカニも小さいカニも見つけることができました。
- ・ヘビトンボが思っていたよりも大きくてびっくりしました。
- ・最初は生き物が怖かったけど、たくさんの生き物を見つかることができ嬉しかったし楽しかったです。
- ・いろいろな生き物がいました。全員元気で嬉しかったです。でも、ごみが何個か落ちていたので残念でした。
- ・中流の大川はきれいな水だと知って驚きました。

○第2回調査 6月2日(水)

- ・中流の塩津中では、Iのカワゲラがいなかったのに、上流の沓掛では見つけることができました。
- ・前よりうまくつかまえることができ嬉しかったです。
- ・前よりIの階級の生き物が増えたので、上流は中流よりきれいな川だと思いました。
- ・前回も今回も、きれいな水にすんでいる水生生物が多く見つかりました。大川がきれいな川だと知って嬉しかったし、少し安心しました。

調査のまとめ

- ・2年前の水生生物調査で、中流の塩津中ではヘビトンボが見られませんでした。今回の調査では見つけることができました。
- ・中流よりも上流の方が、Iに分類される水生生物が多く見つかりました。このことから、大川の水は、予想をしていた通り中流の塩津中より上流の大川の方がきれいであることがわかりました。
- ・中流も上流も「きれいな水(I)」という判定が出たことから、大川の上流・中流は全体的にきれいな水の川であることがわかりました。
- ・上流の沓掛の調査では、貴重なヤツメウナギを見つけることができました。
- ・川の上から見ているだけでは気付きませんでしたが、石を動かして水底をすくうことで多様な水生生物がいることを実感しました。
- ・生き物が安心してすむことができるよう、身近な水や自然を大切にしていかなければならないと思いました。



みずすまし交流会

自分たちが取り組んできたことをたくさんの人に発表する良い機会となりました。また、他の学校の発表を聞いて、水生生物や川についてより関心が深まりました。